

消防のあゆみ

昭和50年 (1975)	4月	職員定数(130名)
	6月	稲沢市から1名派遣、1名派遣を解かれる。
	8月	祖父江出張所新庁舎竣工 、(祖父江町大字上牧字下川田454番地・祖父江町役場敷地内) 仮出張所より移転する。 祖父江町職員1名、平和町職員1名退職、職員数98名
昭和51年	10月	祖父江町から職員1名派遣、職員数99名
	1月	稲沢市から職員1名派遣、職員数100名
	3月	平和出張所新庁舎竣工 、(平和町三宅492番地の1) 稲沢市職員1名派遣を解かれ、職員数99名
	4月	稲沢市8名、祖父江町7名、平和町9名採用し、組合へ派遣 稲沢市から1名派遣、職員数124名
	5月	査察広報車1台、平和町より貸与され平和出張所へ配置 平和出張所新庁舎業務開始、消防署より移転する。
	7月	査察広報車1台、稲沢防火危険物安全協会から寄贈を受け、消防本部へ配置
	8月	査察広報車1台、祖父江町より貸与され、祖父江出張所へ配置
	10月	消防ポンプ自動車1台購入、東部出張所へ配置
	12月	消防ポンプ自動車1台購入、平和出張所へ配置
	昭和52年	2月
3月		稲沢市、祖父江町及び平和町から出向職員123名は出向市町職員を退職し、消防組合職員に切り替えられた。
4月		職員退職手当基金設置 稲沢市庁舎(消防本部庁舎及び付属棟一部)、祖父江出張所及び平和出張所の敷地は、消防組合へ無償貸付、物品については無償譲渡された。 4名採用、職員数128名
12月		水槽付消防ポンプ自動車1台購入、消防署へ配置
昭和53年	4月	職員定数条例改正(135名) 連絡車1台購入、消防本部へ配置 通信室を改造し、指令室に改めB型指令装置を設置 1名採用、職員数129名
	12月	小型動力ポンプ付水槽車1台購入、消防署へ配置
昭和54年	3月	稲沢市職員1名派遣を解かれ、職員128名

	4月	稲沢市から1名派遣、3名採用、1名退職、職員数131名
	5月	1名採用、職員数132名
	10月	原動付自転車2台購入、消防本部へ配置 1名退職、職員数131名
	11月	化学消防ポンプ自動車1台、日本損害保険協会より寄贈を受け、東部出張所へ配置
昭和55年 (1980)	3月	はしご付消防ポンプ自動車(35m)1台購入、消防署へ配置 1名退職、職員数130名
	4月	職員定数条例改正(139名) 6名採用、1名退職、職員数135名
	5月	人員搬送車1台購入、消防本部へ配置 査察広報車1台購入、東部出張所へ配置
	6月	人員搬送車、査察広報車各1台廃車
	10月	1名採用、職員数136名
	11月	救急車1台、日本損害保険協会より寄贈を受け、消防署へ配置
	12月	救急車1台購入、祖父江出張所へ配置 救急車2台廃車
昭和56年	3月	稲沢市職員1名派遣を解かれ、職員数135名
	4月	東部出張所を東分署に改める。 職員定数条例改正(143名) 4名採用、職員数139名
	7月	査察広報車1台購入、消防本部へ配置 資材運搬車1台購入、消防署へ配置 広報車1台廃車
	10月	査察広報車1台、稲沢防火危険物安全協会より寄贈を受け、消防本部へ配置
	11月	消防ポンプ自動車1台購入、消防署へ配置
	12月	指令車1台購入、消防本部へ配置 指令車1台廃車
昭和57年	1月	救急車2台購入、東分署及び平和出張所に配置
	2月	東分署車庫増築工事(119㎡)が竣工し、屈折はしご付消防ポンプ自動車消防署から東分署へ配置替え。 救急車2台廃車
	6月	救急車1台、磯野樹脂産業(株)より寄贈を受け、消防署へ配置
	9月	1名退職、職員数138名
	11月	1名退職、職員数137名

		水槽付消防ポンプ自動車 1 台廃車
昭和58年	1 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入、東分署へ配置 消防ポンプ自動車 1 台購入、祖父江出張所へ配置 祖父江出張所の旧消防ポンプ自動車 1 台を消防署へ配置
	1 0 月	消防ポンプ自動車 1 台廃車
	1 1 月	祖父江出張所の訓練塔（高さ 1 1. 5 m）竣工
昭和59年	2 月	1 名退職、職員数 1 3 6 名
	3 月	1 名退職、職員数 1 3 5 名
	7 月	査察広報車 1 台を購入、消防本部へ配置
	8 月	査察広報車 1 台廃車
	1 0 月	査察広報車 1 台、愛知県共済生活協同組合より寄贈を受け消防署へ配置
	1 2 月	平和出張所の訓練塔（高さ 1 1. 5 m）竣工
昭和60年 (1985)	4 月	2 名採用、職員数 1 3 7 名
	7 月	消防本部の査察広報車と平和出張所の査察広報車とを配置替え。
	1 1 月	水槽付消防ポンプ自動車（東分署） 1 台廃車
	1 2 月	東分署の訓練塔（高さ 1 1. 5 m）竣工 1 名退職、職員数 1 3 6 名
昭和61年	4 月	1 名採用、職員数 1 3 7 名
	5 月	査察広報車（消防本部） 1 台廃車
	8 月	査察広報車 1 台購入、祖父江出張所へ配置 査察広報車 1 台廃車
昭和62年	5 月	連絡車 1 台購入、消防本部へ配置 連絡車 1 台廃車
昭和63年	2 月	救急車 1 台購入、消防署へ配置 救急車 1 台廃車
平成元年	3 月	査察広報車 1 台、農事組合法人井掘植木生産組合より寄贈を受け、消防本部へ配置
	1 0 月	原動機付自転車 1 台を消防本部から東分署へ配置替え。
	1 2 月	消防ポンプ自動車 1 台（消防署）廃車
平成 2 年 (1990)	3 月	水槽付消防ポンプ自動車 2 台購入、祖父江出張所及び平和出張所へ配置 水槽付消防ポンプ自動車 2 台廃車
	1 2 月	救急車 1 台、愛知県共済生活協同組合より寄贈を受け、祖父江出張所へ配置 救急車 1 台廃車

平成3年	3月	指令室に消防緊急情報システムⅡ型を設置 2名退職、職員数135名
	4月	4名採用、職員数139名
	6月	査察広報車1台、日本消防協会より寄贈を受け、消防本部へ配置 原動機付自転車（東分署）1台廃車
	7月	稲沢市から1名組合へ派遣、職員数140名 査察広報車（消防本部）1台廃車 原動機付自転車（消防本部）1台廃車
	8月	1名退職、職員数139名
	10月	査察広報車2台購入、消防本部及び東分署へ配置
平成4年	11月	査察広報車2台廃車
	1月	救急車（東分署）1台廃車
	3月	消防ポンプ自動車1台購入、平和出張所へ配置 救急車1台購入、東分署へ配置 1名退職、職員数138名 稲沢市から1名派遣を解かれ、職員数137名
	4月	稲沢市から1名組合へ派遣、職員数138名 3名採用、職員数141名
	6月	消防ポンプ自動車（平和出張所）1台廃車
	10月	救急車1台、磯野株式会社より寄贈を受け、消防署へ配置 救急車1台、東新住建株式会社より寄贈を受け、東分署へ配置し、東分署の旧救急車を平和出張所へ配置替え。
	11月	救急車（消防署及び平和出張所）2台廃車
平成5年	2月	救助工作車1台購入、消防署へ配置 救助工作車1台廃車
	3月	1名退職、職員数140名
	4月	職員定数条例改正(153名) 6名採用、職員数146名
	10月	指令車1台購入、消防本部へ配置
平成6年	11月	指令車1台廃車
	2月	はしご付消防ポンプ自動車（15m）1台購入、東分署へ配置
	3月	スノーケル車（東分署）1台廃車 2名退職、職員数144名
	4月	3名採用、職員数147名
	6月	1名退職、職員数146名
	9月	1名退職、職員数145名

- 平成7年
(1995)
- 1月 査察広報車1台、愛知県共済生活協同組合より寄贈を受け、消防署へ配置
- 2月 高規格救急自動車1台購入、消防署へ配置
水槽付消防ポンプ自動車1台購入、消防署へ配置
1名退職、職員数144名
- 3月 消防署の救急車1台廃車
1名退職、職員数143名
- 4月 4名採用、職員数147名
- 11月 査察広報車1台購入、平和出張所へ配置
- 12月 東分署の訓練塔(高さ17.0m)の改修
- 平成8年
- 1月 査察広報車(平和出張所)1台廃車
- 2月 化学消防ポンプ自動車1台購入、消防署へ配置
消防ポンプ自動車1台購入、東分署へ配置
- 3月 化学消防ポンプ自動車1台廃車
消防ポンプ自動車1台廃車
3名退職、職員数144名
- 4月 5名採用、職員数149名
- 7月 稲沢市から1名派遣を解かれ、職員数148名
- 8月 稲沢市から1名組合へ派遣、職員数149名
査察広報車1台購入、祖父江出張所へ配置
査察広報車1台廃車
- 11月 **消防庁舎用地購入(567㎡)**
- 12月 1名退職、職員数148名
- 平成9年
- 2月 資材運搬車1台購入、消防署へ配置
高規格救急自動車1台購入、祖父江出張所へ配置し、旧救急車を消防署へ配置替え。
資材運搬車1台廃車
- 3月 4名退職、職員数144名
- 4月 4名採用、職員数148名
- 5月 査察広報車1台、塚本義勝氏より寄贈を受け、消防本部へ配置
査察広報車1台廃車
- 6月 連絡車1台購入、消防本部へ配置
連絡車1台廃車
1名退職、職員数147名
- 平成10年
- 1月 消防ポンプ自動車1台購入、消防署へ配置
水槽付消防ポンプ自動車1台を購入、東分署へ配置

		消防ポンプ自動車1台廃車
		水槽付消防ポンプ自動車1台廃車
	3月	1名退職、職員数146名
	4月	職員定数条例改正(163名) 3名採用、職員数149名
	9月	人員搬送車1台購入、消防本部へ配置
	11月	人員搬送車1台廃車
平成11年	1月	小型動力ポンプ付水槽車1台購入、消防署へ配置 消防ポンプ自動車1台購入、祖父江出張所へ配置 小型動力ポンプ付水槽車1台廃車 消防ポンプ自動車1台廃車
	3月	稲沢市から1名派遣を解かれ、職員数148名
	4月	稲沢市から1名組合へ派遣、職員数149名 6名採用、職員数155名
	7月	祖父江出張所を祖父江分署に改める。 平和出張所を平和分署に改める。
	10月	査察広報車1台購入、消防本部へ配置 査察広報車1台廃車
平成12年 (2000)	2月	化学消防ポンプ自動車1台購入、東分署へ配置 高規格救急自動車1台購入、東分署へ配置 化学消防ポンプ自動車1台廃車 救急車1台廃車
	3月	稲沢市から1名派遣を解かれ、職員数154名 3名退職、職員数151名
	4月	稲沢市から1名組合へ派遣、職員数152名 8名採用、職員数160名
	7月	消防庁舎基本設計
	9月	消防庁舎実施設計
	10月	はしご付消防自動車(40m)1台購入、消防署へ配置 はしご付消防ポンプ自動車(35m)1台廃車 消防庁舎用地購入(11,312㎡)
平成13年	2月	査察広報車1台購入、東分署へ配置 査察広報車1台廃車
	3月	稲沢市から1名派遣を解かれ、職員数159名 2名退職、職員数157名
	4月	稲沢市から1名組合へ派遣、職員数158名

- 3名採用、職員数161名
- 7月 消防庁舎着工(起工式)
- 10月 高規格救急自動車1台購入、平和分署へ配置
- 12月 救急車1台廃車
- 平成14年 3月 1名退職、職員数160名
稲沢市ほか二町消防組合を解散
- 4月 三組合(消防・水道・衛生)が合併し、稲沢中島広域事務組合を設立
2名採用、職員数162名
2名稲沢中島広域事務組合事務局へ出向
- 10月 消防庁舎完成
- 平成15年 2月 査察広報車1台、愛知県共済生活協同組合より寄贈を受け、消防本部へ配置
- 3月 消防緊急通信指令施設整備
旧消防庁舎より移転する。
消防庁舎竣工(業務開始) 稲沢市船橋町鯉坪321番地1
査察広報車1台廃車
- 6月 連絡車1台購入、消防本部へ配置
- 9月 1名退職、職員数161名
- 平成16年 1月 高規格救急車1台購入、消防署へ配置
救急車1台廃車
- 8月 1名退職、職員数160名
- 12月 1名退職、職員数159名
- 平成17年 1月 高規格救急車1台購入、消防署へ配属
(2005) 救急車1台廃車
水槽付消防ポンプ自動車2台を購入、祖父江分署及び平和分署へ配置
水槽付消防ポンプ自動車2台廃車
- 3月 稲沢市から1名派遣を解かれ、職員数158名
2名退職、職員数156名
三組合(消防・水道・衛生)の稲沢中島広域事務組合を解散
- 4月 一市二町(稲沢市、祖父江町、平和町)の合併に伴い、稲沢市消防本部に改める。
一般行政職から1名消防吏員に転任する。職員数157名
4名採用、職員数161名
査察広報車2台を旧祖父江町、平和町から配置換えのため、消防本部へ配置
- 8月 1名退職、職員数160名

平成18年	3月	1名退職、職員数159名
	4月	職員定数条例改正(170名) 4名採用、職員数163名
	5月	1名退職、職員数162名
	12月	資材運搬車1台購入、消防署へ配置 資材運搬車1台廃車
	平成19年	1月
	2月	消防ポンプ自動車1台購入、平和分署へ配置 消防ポンプ自動車1台廃車 査察広報車1台、愛知県共済生活協同組合より寄贈を受け、消防本部へ配置
	3月	3名退職、職員数159名
	4月	5名採用、職員数164名
	7月	1名退職、職員数163名
	9月	指令車1台購入、消防本部へ配置 指令車1台廃車
	12月	指揮車1台購入、消防署へ配置 査察広報車1台廃車
平成20年	2月	救助工作車1台購入、消防署へ配置 救助工作車1台廃車
	3月	6名退職、職員数157名
	4月	7名採用、職員数164名 1名退職、職員数163名
	9月	支援車1台購入、消防署へ配置 人員搬送車1台廃車
	平成21年	1月
2月		査察広報車1台、愛知県共済生活協同組合より寄贈を受け、消防署へ配置 査察広報車1台廃車
3月		7名退職、職員数156名
4月		6名採用、職員数162名
9月		査察広報車1台購入、平和分署へ配置 査察広報車1台廃車
10月		4名採用、職員数166名

平成22年 (2010)	1 2月	1名退職、職員数165名
	2月	高規格救急車1台購入、稲沢東分署へ配置 高規格救急車1台廃車 査察広報車1台購入、祖父江分署へ配置 査察広報車1台廃車
	3月	6名退職、職員数159名
	4月	7名採用、職員数166名
	5月	連絡車1台購入、消防本部へ配置 連絡車1台廃車
平成23年	3月	7名退職、職員数159名
	4月	7名採用、職員数166名
平成24年	1月	1名退職、職員数165名 消防ポンプ自動車1台購入、稲沢東分署へ配置 消防ポンプ自動車1台廃車
	2月	高規格救急車1台購入、平和分署へ配置 高規格救急車1台廃車
	3月	5名退職、職員数160名
	4月	6名採用、職員数166名
平成25年	1月	高規格救急車1台購入、消防署へ配置 高規格救急車1台廃車
	2月	はしご付消防ポンプ自動車(15m)1台購入、稲沢東分署へ配置 はしご付消防ポンプ自動車(15m)1台廃車
	3月	6名退職、職員数160名
	4月	7名採用、職員数167名
	10月	査察広報車1台購入、稲沢東分署へ配置 査察広報車1台消防本部総務課へ配置 査察広報車1台廃車
	11月	水槽付消防ポンプ自動車1台購入、稲沢東分署へ配置 水槽付消防ポンプ自動車1台廃車
	12月	1名退職、職員数166名 消防ポンプ自動車1台購入、消防署へ配置 消防ポンプ自動車1台廃車
平成26年	2月	高規格救急車1台購入、消防署へ配置 高規格救急車1台廃車
	3月	7名退職、職員数159名
	4月	7名採用、1名市役所総務部理事へ異動、職員数165名

		高規格救急車 1 台消防署から稲沢東分署へ配置
		はしご付消防ポンプ自動車 (15 m) 稲沢東分署から消防署へ配置
平成27年 (2015)	10月	化学消防ポンプ自動車1台稲沢東分署から消防署へ配置
	1月	小型動力ポンプ付水槽車 1 台購入、消防署へ配置 小型動力ポンプ付水槽車 1 台廃車
	3月	化学消防ポンプ自動車 1 台廃車 7名退職、職員数 158名
	4月	5名採用、職員数 166名 (再任用 3名含む。)
	6月	査察広報車 1 台廃車
平成28年	1月	査察広報車 1 台購入、消防本部予防課へ配置 原因調査車 1 台購入、消防本部予防課へ配置 査察広報車 2 台廃車
	2月	消防ポンプ自動車 1 台購入、祖父江分署へ配置 消防ポンプ自動車 1 台廃車
	3月	6名退職、職員数 160名 (再任用 3名含む。)
	4月	一宮市・稲沢市消防指令センター 消防指令業務の共同運用開始 5名採用、職員数 167名 (再任用 5名含む。)
	6月	連絡車 1 台購入、消防本部へ配置 1名退職、職員数 166名 (再任用 5名含む。)
	8月	1名退職、職員数 165名 (再任用 5名含む。)
	10月	2名採用、職員数 167名 (再任用 5名含む。)
	12月	高規格救急車 1 台購入、祖父江分署へ配置 高規格救急車 1 台廃車 防災広報車 1 台、公益財団法人日本消防協会より交付を受け、消防団本部へ配置
平成29年	3月	15名退職 (再任用 3名含む。)、職員数 152名 (再任用 2名含む。)
	4月	5名採用、職員数 164名 (再任用 9名含む。)
	7月	1名退職、職員数 163名 (再任用 9名含む。)
	11月	査察広報車 1 台購入、消防本部総務課へ配置 査察広報車 1 台廃車
	12月	高規格救急車 1 台購入、稲沢東分署へ配置 高規格救急車 1 台廃車 救助資機材・小型動力ポンプ搭載多機能車 1 台、総務省消防庁より貸付を受け、消防団本部へ配置 1名退職、職員数 162名 (再任用 8名含む。)
平成30年	3月	指令車 1 台廃車

		15名退職(再任用1名含む。)、職員数147名(再任用7名含む。)
	4月	6名採用、職員数164名(再任用18名含む。)
	11月	はしご付消防自動車(40m)1台購入、消防署へ配置 はしご付消防自動車(40m)1台廃車
平成31年	3月	2名退職、職員数162名(再任用18名含む。)
	4月	6名採用、職員数169名(再任用19名含む。)
令和元年	12月	化学消防ポンプ自動車1台購入、消防署へ配置 化学消防ポンプ自動車1台廃車
令和2年 (2020)	3月	9名退職(再任用7名含む。)、職員数160名(再任用12名含む。)
	4月	6名採用、職員数166名(再任用12名含む。)
	7月	連絡車1台購入、消防本部へ配置 連絡車1台廃車
	12月	高規格救急車1台購入、消防署へ配置 高規格救急車1台廃車
令和3年	3月	14名退職(再任用11名含む。)、職員数152名(再任用1名含む。)
	4月	5名採用、職員数158名(再任用2名含む。)
	5月	1名退職、職員数157名(再任用2名含む。)
令和4年	1月	査察広報車1台廃車
	2月	高規格救急車1台購入、平和分署へ配置 高規格救急車1台廃車
	3月	査察広報車1台、愛知県共済生活協同組合より寄贈を受け、消防署へ配置 9名退職(再任用1名含む。)、職員数148名(再任用1名含む。)
	4月	7名採用、職員数159名(再任用5名含む。)
	10月	2名採用、職員数161名(再任用5名含む。)
令和5年	3月	高規格救急車1台購入、稲沢東分署へ配置 高規格救急車1台廃車 水槽付消防ポンプ自動車1台購入、祖父江分署へ配置 水槽付消防ポンプ自動車1台廃車 6名退職、職員数155名(再任用5名含む。)
	4月	一般行政職から1名消防吏員に転任する。職員数156名 6名採用、職員数164名(再任用7名含む。)